

公衆衛生看護展開論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 大澤 扶佐子 准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座、看護専門基礎講座、衛生学公衆衛生学講座		
対象学年	3	区分・時間数	講義 16.5 時間 演習 6 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

地域看護学展開論で学んだ地域における多様な保健活動について、発達段階別、健康課題別の具体的な保健活動の課題と施策、そして活動を展開する方法について実践的に学ぶ。また、学校保健、産業保健については、その保健活動の特性を理解し、学校、産業における保健活動の展開方法について学修するとともに、看護職の役割について理解する。

・教育成果（アウトカム）

母子・成人・高齢者といった発達段階別、精神・障害児（者）・感染症の健康課題別、学校・産業といった活動の場別の保健活動の実際について講義を受け理解できる。さらに、健康診査等の場で行う保健指導の場面の演習を経験することで、対象者の理解の仕方、保健指導の進め方を具体的に考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4, 5, 6, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 母子保健、成人保健、高齢者保健、精神保健、障害児（者）保健、感染症保健、学校保健、産業保健の各分野における健康課題を整理できる。
2. 母子保健、成人保健、高齢者保健、精神保健、障害児（者）保健、感染症保健、学校保健、産業保健の各分野における保健活動の展開方法を説明できる。
3. 母子・成人・高齢者の対象別の演習の中で、対象を理解し支援する方法を検討できる。
4. 学校・産業の活動の場において、対象の置かれている状況を社会的要因と関連させて考えられる。
5. 母子保健、成人保健、高齢者保健、精神保健、障害児（者）保健、感染症保健、学校保健、産業保健の各分野において、対象者を支援するために必要な多職種・多機関を説明できる。

・ 授業日程

(矢) マルチ 4-A 講義室、 (矢) マルチ 3-B 実習室

【講義・演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
9/2	木	1	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授	母子保健活動 1 <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児の成長・発達について観察方法を用いてアセスメントできる ・ 乳幼児健診の実施方法が説明できる ・ 予防接種の目的と安全に実施するために保護者に行う保健指導の内容を説明できる
9/2	木	3	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授	学校保健活動 1 (ゲストスピーカー) <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育における学校保健計画・学校安全法等の制度・学校内での組織的な取り組み体制を捉え、養護教諭の職務・役割を説明できる
9/9	木	3	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授	学校保健活動 2 (ゲストスピーカー) <ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢に応じた発達段階を理解し、その発達課題および健康課題に対応する保健室経営あり方を説明できる ・ いじめ・不登校・児童虐待等の健康課題に対応するための学校内外の関係職種・機関を説明できる
9/14	火	5	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授	母子保健活動 2 離乳食の進め方の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・ 離乳食の進め方が説明できる ・ 離乳食の試食により、固さの変化・調理の工夫等が分かる

9/15	水	4	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	母子保健活動3 乳幼児健康診査の実際 ・問診・身体計測が実施でき、結果からアセスメントし、指導内容が整理できる。 ・3歳児健診の視力・聴力の測定方法を理解できる
9/16	木	4	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授	学校保健活動3 (ゲストスピーカー) ・特別な支援を必要とする子ども(医療的ケア児・慢性疾患・アレルギー・ジェンダーアイディンティティ・若年妊娠等)に対して組織的に対応するための養護教諭の役割を説明できる
9/16	木	5	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授	障害児(者)の保健活動 ～発達障害を中心として～ ・発達障害の種類と特徴を説明できる ・早期発見・早期療育の必要性を説明できる ・多機関が連携した支援内容について説明できる
9/22	水	3	看護専門基礎講座 地域包括ケア講座	遠藤 龍人 教授 松岡 真紀子 助教	成人保健活動 ・メタボリック症候群の要因となる生活習慣について、根拠に基づき説明できる ・特定保健指導を想定し、良い生活習慣に行動変容するための保健指導方法を工夫できる
9/24	金	2	地域包括ケア講座	松岡 真紀子 助教	高齢者保健活動 ・高齢者の健康課題と支援方法について事例を通して検討できる

9/27	月	2	地域包括ケア講座	岩渕 光子 特任准教授	<p>感染症保健活動 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康危機管理の定義・分類を説明できる ・平常時の感染症予防活動を説明できる ・感染症集団発生時の保健活動を説明できる
9/27	月	3	地域包括ケア講座	岩渕 光子 特任准教授	<p>感染症保健活動 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結核患者の動向と感染症法による結核対策の体系を説明できる ・DOTS の目的・実施方法を説明できる
9/28	火	3	地域包括ケア講座	岩渕 光子 特任准教授	<p>精神保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における支援が必要な精神疾患と支援の特徴を説明できる ・うつ病・自殺の動向を把握し、地域で展開する包括的な支援の方法を説明できる
10/4	月	4	衛生学公衆衛生学講座	田鎖 愛理 講師	<p>産業保健における健康課題と施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業保健の動向と健康課題及び対策について説明できる
10/6	水	3	衛生学公衆衛生学講座	田鎖 愛理 講師	<p>産業保健における健康診査、健康相談およびメンタルヘルス活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業保健における健康診査、健康相談等の活動について説明できる ・職場のメンタルヘルス向上のための支援について説明できる
10/6	水	4	衛生学公衆衛生学講座	田鎖 愛理 講師	<p>産業保健における疾病管理および環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業保健における疾病管理及び環境管理について説明できる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 第4版	松田 正己 他	医学書院	2019
教	公衆衛生看護学.jp 第5版	荒賀 直子 他編	インターメディカル	2020
教	公衆衛生マニュアル 2021	柳川 洋 他編	南山堂	2021
教	国民衛生の動向 2020/2021	厚生労働統計協会	厚生労働統計協会	2020
教	母子健康手帳	岩手県保健福祉部子ども子育て支援課(監)	吉田印刷	2021
参	母子保健マニュアル	高野 陽 他	南山堂	2010
参	新版 保健師業務要覧 第4版 2021年版	井伊久美子 他編	日本看護協会出版会	2021

・成績評価方法

定期試験 100% にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、既習の関連科目の復習をした上で授業に臨むこと。演習では、ロールプレイ等を行うことから、演習前には、関連する教科書および配布資料を読み、学修のポイントを理解した上で臨むこと。授業で得た知識・技術が公衆衛生看護学実習で活用できるように、授業終了後は主体的に自己学修を行い、ノートに整理すること。事前事後学修に最低 30 分以上の時間を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

レスポンスカード等については、次の授業で適宜コメントを伝えるなど、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師(別表1): 公衆衛生看護学 公衆衛生看護活動展開論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
------	----------	----	------

講義	プロジェクター (VPL-FW60)	1	講義用スライド投影
演習	書画カメラ (P-100)	1	講義用資料投影
演習	幼児肥満度計算尺	5	幼児の成長を評価する道具の使用技術修得のため
演習	小児発達検査用具一式	1	幼児の発達を評価する方法の理解のため
演習	乳児実習モデル	4	シミュレーターを活用した身体計測技術の修得のため
演習	乳児用体重計・乳児用身長計・メジャー	4	乳児の身体計測技術の修得のため
演習	離乳食フードモデル (初期・中期・後期)	3 期分	離乳食の進み方を理解するため
演習	離乳食用食器	一式	離乳食の作り方・与え方の理解のため